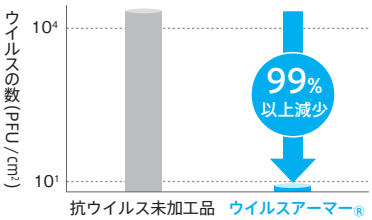
抗ウイルス壁紙　ウイルスアーマー®

●壁紙表面には抗ウイルス剤コーティング層があり、壁紙に付着したウイルスに反応。
●ウイルス表層のタンパク質を変質させ、ウイルス数を減少させます。
●抗菌機能もありますので、壁紙の表面に付着した細菌の繁殖抑制にも効果があります。

■抗ウイルス性能試験結果

24時間後のウイルスAのウイルス数の変化



＜試験機関＞（一財）ニッセンケン品質評価センター　＜試験方法＞ ISO 21702法
＜試験ウイルス＞ ウイルスA（エンベロープなし）

※薬機法（医薬品、医療機器用の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の関係上、特定のウイルス名が表記できないため、ウイルスAと記載しています。
※PFUとはPlaque-forming unitの略で、プラーク法により測定したウイルス数の指標です。

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工
有機系抗ウイルス剤・コーティング表面層
JP0612834X0001G

ウイルスアーマー®はSIAA登録品です。
製品上の特定のウイルスの数を減少させます。

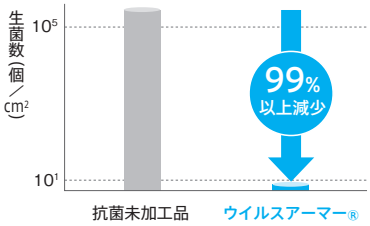
SIAAマークは、ISO 21702法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

SIAA
抗菌加工
有機合成抗菌剤・練込本体
JP0112834X0001B

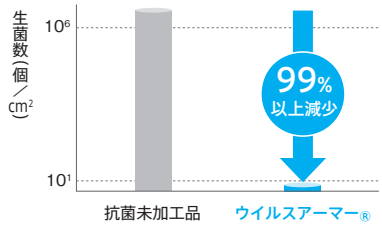
SIAAマークは、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

■抗菌試験結果

24時間後の菌Aの生菌数変化



24時間後の菌Bの生菌数変化



＜試験機関＞ 大和化学工業（株）
＜試験方法＞ JIS Z 2801：2012
持続性耐光処理区分「1」

■使用薬剤の安全性

項目	薬剤のデータ
急性経口毒性	＞2,000mg/kg
皮膚一次刺激性	刺激性なし
変異原性	陰性
皮膚感作性	陰性

■選択上のご注意

・SIAAの安全性基準に適合しています。
・ウイルス自体を分解、忌避する効果はありません。
・抗ウイルス及び抗菌加工は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、感染予防を保証するものではありません。
・医薬品や医療機器などの医療を目的とした製品ではありません。
・抗ウイルス性能は全てのウイルスに対して発現するものではありません。また、全てのウイルスに同様な効果が得られるとは限りません。
・抗菌性能は全ての細菌に対して発揮するものではありません。また、全ての細菌に同様な試験結果が得られるとは限りません。
・空気中の細菌を自ら取り込む性能はありません。

■メンテナンスについて

・日常的に電気掃除機などでホコリを吸い取るなどのメンテナンスを行ないながら、壁紙表面を拭き取る際は水や薄めた中性洗剤をご使用ください。
・消毒用アルコール等を使用し壁紙表面を強く擦ると抗ウイルスの有効成分が脱離する場合があります。
・次亜塩素酸ナトリウム水溶液による拭取りの際、壁紙表面を変質、変色させる場合があります。
・抗ウイルス機能の持続性は、壁紙表面に抗ウイルス剤がある限り理論的には半永久的ですが、汚れの付着などにより効果が低減する可能性があります。美観維持のためにも5～10年位での張替えをおすすめします。

※機能性壁紙の試験結果は実測値であり、保証値ではありません。